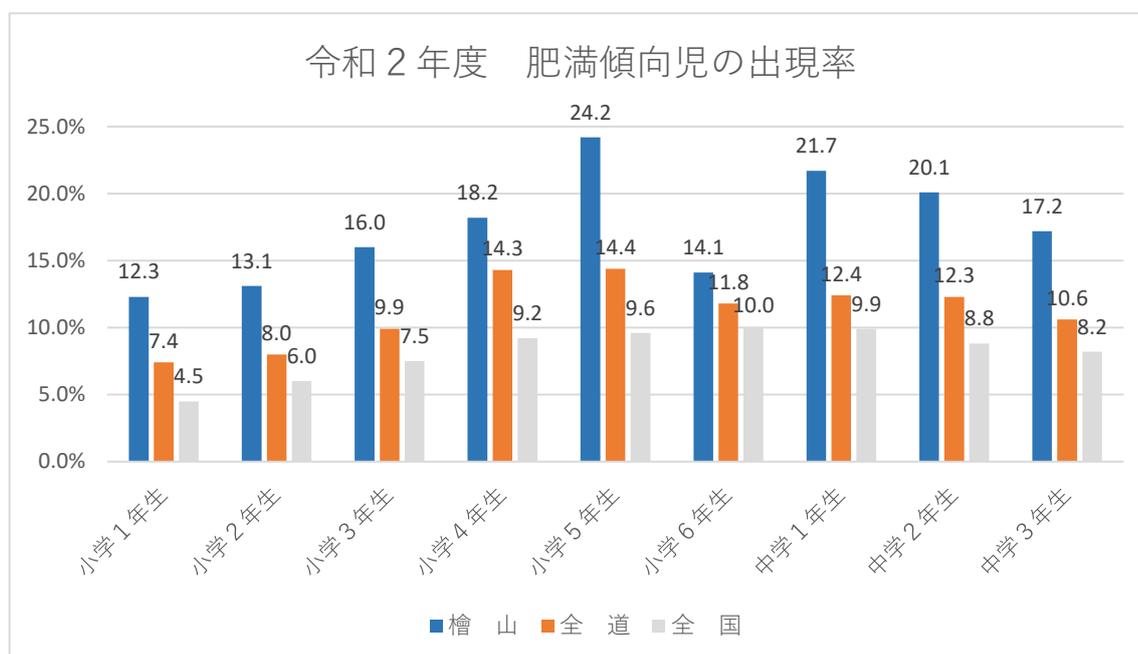


<統計調査から見る管内児童・生徒の現状（体重）について>

(1) 檜山管内における肥満傾向児の出現率 (%)

	檜 山	全 道	全 国
小学1年生	12.3	7.4	4.5
小学2年生	13.1	8.0	6.0
小学3年生	16.0	9.9	7.5
小学4年生	18.2	14.3	9.2
小学5年生	24.2	14.4	9.6
小学6年生	14.1	11.8	10.0
中学1年生	21.7	12.4	9.9
中学2年生	20.1	12.3	8.8
中学3年生	17.2	10.6	8.2



※「令和2年度 檜山管内学校保健基礎資料集」（檜山管内学校保健会 R3.3発行）より一部抜粋

→ 全国並びに北海道の肥満傾向児の出現率は、年々増加傾向にあり、北海道においては、全国数値よりも高い数値となっております。

また、檜山管内における肥満傾向児の出現率については、すべての学年が全国及び北海道の数値より上回っています。

肥満は、様々な疾患とつながりがあり、当部会の課題の一つでもある生活習慣病（高血圧）の原因となることから、管内における健康課題の一つである。